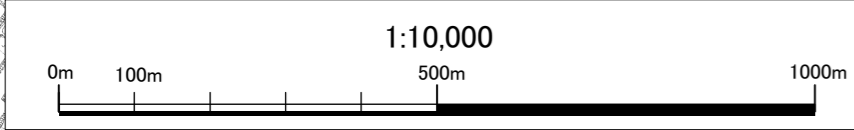
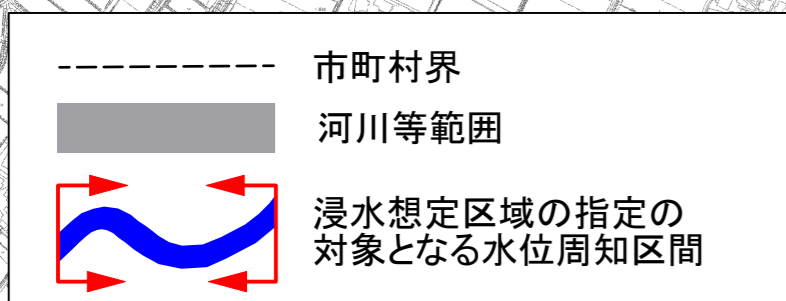
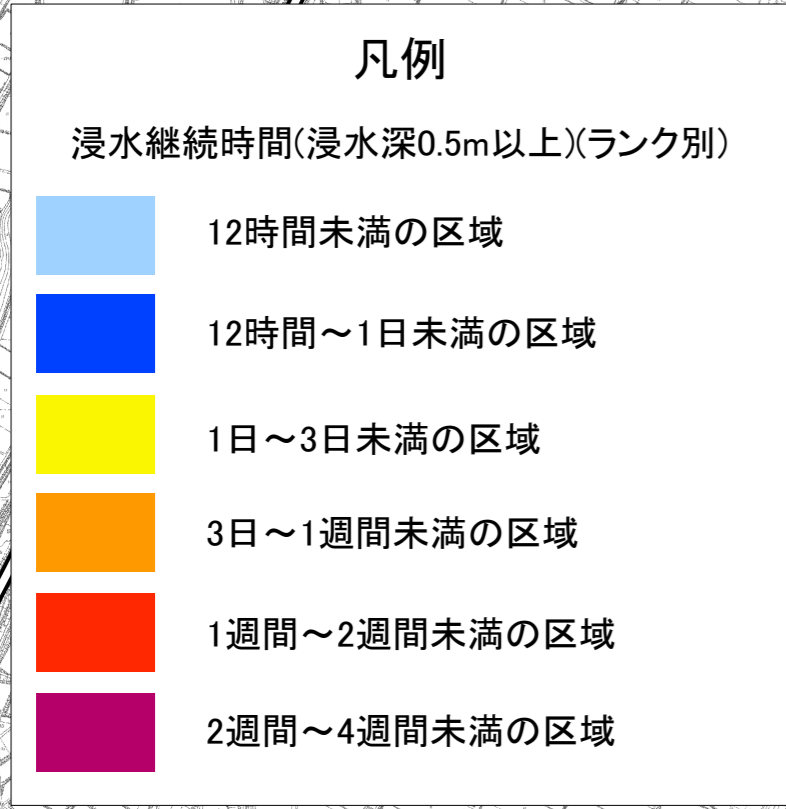
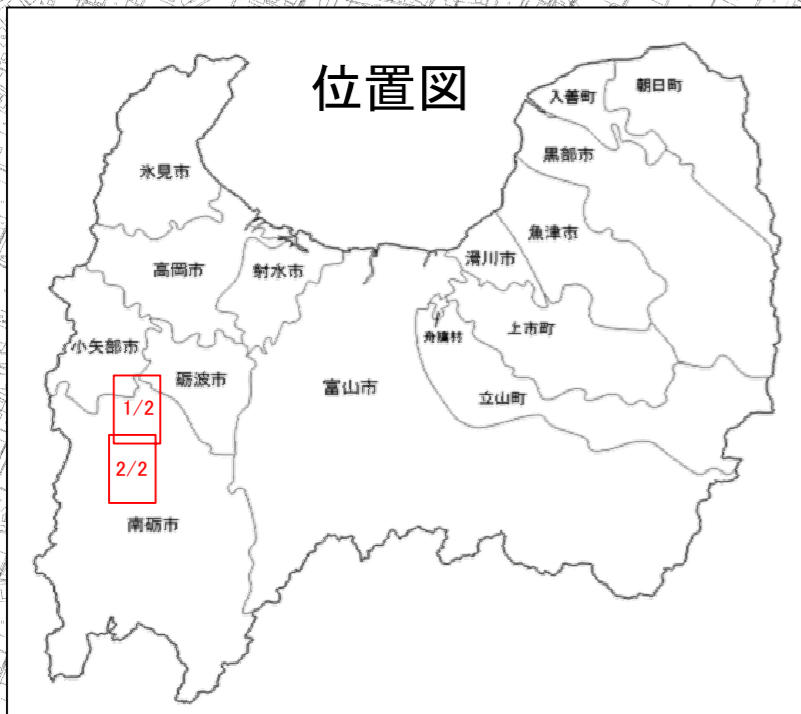


# 小矢部川水系山田川 洪水浸水想定区域図 (浸水継続時間) (2/2)



1. 説明文

- (1) この図は小矢部川水系山田川について、水防法に基づき浸水継続時間を表示した図面です。
- (2) この浸水継続時間は、公表時点の山田川の河道および城端ダムの整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により山田川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) この浸水継続時間は、堤防と河道の改修が完了していない地先等、公表時点の河道状況を勘案して想定される複数の破堤箇所が破堤した場合等を想定した一定の条件におけるシミュレーションを行い、これを重ね合わせて最大の浸水継続時間・最大の範囲を示したものです。
- (4) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川や隣接する河川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。

2. 基本事項等

- (1) 作成主体 富山県
- (2) 公表年月日 平成30年8月17日
- (3) 告示番号 富山県告示第375号
- (4) 根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
- (5) 対象となる水位周知河川 小矢部川水系山田川  
(実施区間)  
左岸: 南砺市野口字大島(城南橋)から小矢部川合流点  
右岸: 南砺市城端字向川原(城南橋)から小矢部川合流点
- (6) 指定の前提となる降雨 山田川流域の12時間総雨量464mm
- (7) 関係市町村 南砺市
- (8) その他計算条件等  
ア) 氾濫計算は、対象区域を25m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。  
イ) 計算メッシュの地盤高は、基礎地図情報(数値標高モデル、5mメッシュ)から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響があらわされていない場合があります。  
ウ) 連続して大規模に盛土された道路や河川の堤防については、氾濫水を左右することから計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。